

令和8年度第2回富津市学校運営協議会（大佐和小学校）会議録（要旨）

○ 実施日 令和8年7月8日

○ 参加者

加藤 悟 藤平 勝正 榎本 裕 神子 順 杉田 玲子 鈴木 秀弘
三平 由香 小川 早紀 藤平 隆太郎 秦野 真紀 小谷 美和

○ 概要

（1） 学校や地域の課題の解決方法

3つの観点に基づき、意見交換を行った。
それぞれについて主な意見は以下のとおり。

A 安全（通学路、地域の安全）

本校は登校班を組織し、毎朝班ごとにまとまって登校をしている。見守り隊の方々が横断を見てくださったり、一緒に歩いてくださったり、保護者としては安心である。佐貫地区の児童はスクールバスを利用している。利用児童の把握にだいぶ慣れてきて、スムーズに進んでいる。ただ、登校班によっては、班員がまとまらず、班長が困っているというグループがある。スクールバス内でも力関係により、よくない雰囲気になることがあるとの話が聞こえてくる。このようなことは、登校場面に限ったことではなく、日頃の学級内、学校内のあらゆる場面でも起こりうることである。日常的に相手を思いやる教育を進めていけたらよい。異学年で交流するのもよいだろう。

その他、学校外への防犯カメラや横断歩道の設置、排水溝や歩道の土手の法面の処理等、気になることが多々ある。区長会からも市に要請をしており、これからも安全面に目を向け、一体となって取り組んでいこうと共通理解した。

B 環境（あいさつ、地域のつながり、学校美化）

佐貫小と大貫小が統合したことで、それぞれで行っていた読み聞かせボランティアの団体同士で話し合いを持ち、新たに組織編成をした。お話会の人数割り振りを見直し、既に実現に結びついている。

現在、月に1・2回、地域や保護者の協力を得て、草刈り活動（草刈り隊）を行っている。大貫小のときに学校側から地域に力を貸して欲しいという願いを地域の方々が受けてくださり、スタートをした。佐貫地域にも話が広がるように、文書を地区回覧に入れるのはどうかとの意見があり、次回の地区回覧時に学校だよりを配付し広めていくこととした。

この活動とPTA活動との関連についても話題があがった。保護者にも伝えてはいるものの、実際に参加するのは難しい現況がある。それを理解し「孫がお世話になったから草刈りに来るよ」と言ってくれる方がいる。とてもありがたいことである。また、草刈り隊と子どもたちは交流があるのかという質問があった。活動時に感謝の言葉を伝えている子もいる。この機会を生かし、子どもたちの心も育てていけるとよいとの意見があった。

C 学習（学習ボランティア）

上記のAとBについての意見交換が膨らみ、あまり時間をとることができなかったが、傍聴者として参加した中央公民館の職員からも今後連携を図っていきたいと話があった。2学期に今後の計画について学校と中央公民館との職員で相談の場を設ける。